



なきご之

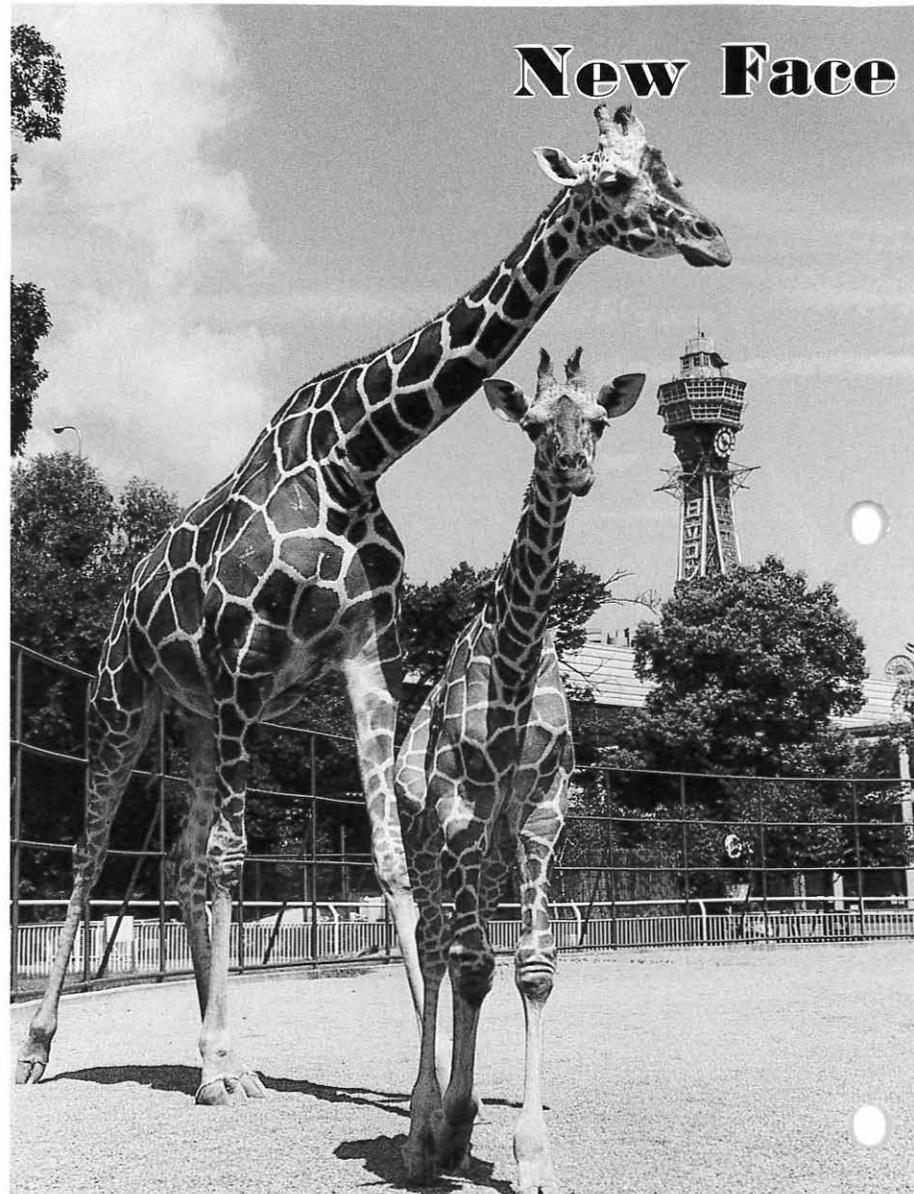


1995

10

OSAKA  AKASO

大 阪 市
天王寺動物園協会



(撮影：小林 崇宏)

New Face

- 2 — New Face アミメキリンの赤ちゃん (小林 崇宏)
- 3 — 動物と私 電車にかけこむイノシシ君 (谷口 三千代)
- カバウォッチング ヨウスコウワニ (榎原 安昭)
- 4 — 動物園の利用法 (辻本 修)
- 6 — アオハリトカゲの繁殖 (西村 慶太)
- 8 — グラフZOO アジアゾウのからだ (西田 俊広)
- 10 — 獣医室から ⑥ 動物園での検疫 (榎原 安昭)
- 11 — ZOO DIARY

カバウォッチング

ヨウスコウワニ
ワニ目 アリゲータ科
Alligator sinensis

中国の揚子江の下流域に生息しています。性質はおとなしく、人や哺乳類をおそうことはありません。温帯に住むので冬季、気温が下がると川底や岸の泥の中で冬眠します。

(撮影：榎原 安昭)

||||| 動物と私 |||||

電車にかけこむイノシシ君

見 たんです。電車にかけこむイノシシを。それから電話するイヌとか、乳母車おして山に登るサル、銀行に行くクマ、政党の代弁をさせられているカメとか、ゴリラとか、ヒョウとか…。とにかく街を少し歩くだけで私はたつくさんの動物に会います。あなたも会ってるでしょ？いわゆる広告のキャラクターというやつです。

私 は取材記事屋なので、コピーライターのように広告コピーを考えたりはあまりしません。(実はできない)。でも広告業界にはくるぶしくらいはつかっているの、ちまたのポスターやチラシ、テレビCMも注意して見るし大好きです。そんな広告業界で動物は万能タレントです。もちろん実物の撮影となると技術や根気は大変なものですが、イラストにすれば、もうなんだってやってくれて、肖像権で訴えられることもないし、ノー・ギャランティです。動物のキャラクターを使う広告の企画書には大抵こう書かれています。“おとなも子どもも親しめる動物のキャラクターを設定し、商品の認知度を高めます”。ふむふむ。でも、動物って本当に親しみやすいかなあ？ 私が最近、会った動物といえば、犬と猫と、真面のサルと奈



谷口 三千代 さん
(フリーライター)

良のシカだけ。人との共生を前提に生きている動物たちです。動物園にお勤めしているとか、ペットショップの人とか、獣医さんとか畑正憲さんくらいしか、そうたつくさんの動物に親しむことはないはず。

私は大阪自然環境保全協会のメンバーで、大阪府下の野山や京の奥山をせせせせと歩き回っています。けれども出会うのは足跡、フン、爪のとき跡、ぬた場(風呂場)、食痕(食べ残し、歯の跡)といった、“私、ここにいてたけど、あしからず”という痕跡だけで、ついに実物君に出会ったことはありません。でもそれ、普通みたいです。痕跡だって山を歩かない人にとっては「ええ〜！大阪の山にシカいてんのん！？」というくらいびっくりすることなのです。

キ ャラクターとして人間に動かされている動物たちは、たしかに可愛い、逃げない、噛みつかない、臭くない、ノミもない、農作物も荒らさないと、とても友好的です。でも、本物の動物はそのほぼ逆の存在であることを忘れてはいけません。ポスターやテレビでよく見かけるから可愛いとか、永遠にどこかで生きているとか、無害だとか…。人間の都合でできあがった動物像に慣れてしまうのはちょっと危険です。

そんな風に広告の中の動物たちを見ると、広告をつくる人のキャラクターまで見えることがあって、それはそれで楽しいのです。動物と商品の特徴の接点をきちんとついで創った広告は印象に残り、「しゃあないなあ、今回は動物の絵でも書いとけ」という広告は不快感や疑問を残します。電車に突進するイノシシ君で、地下鉄の駆け込み乗車防止に果たして、いかほどの効果があるのか、くるぶし程度の私にははかりかねますが…。

(たにぐち みちよ)

← アミメキリンの赤ちゃん

7月8日に誕生したアミメキリンの赤ちゃん、7月19日から一般公開しています。性別は雄、愛称は“アンディ”とつけられました。



動物園の歴史

動物園の利用法を考えるために、一体どのような経過で動物園が誕生したかを調べてみます。古代メソポタミア、エジプト、アッシリア、中国などで最初につくられた動物園は、珍しい動物を集めて自慢し、富や権力を誇示するのが目的で、王侯、貴族、富豪たちが競って豪華な動物園をつくる個人的なものでした。

一般の人の教育や研究などに利用されるのが目的の近代動物園は、1752年に開設されたオーストリアのウィーンのシェーンブルン動物園がスタートとされています。ロンドン動物園は1826年にロンドン動物学協会により設立された社会教育の場としては、本格的な動物園でしょう。日本最古の動物園は東京にある上野動物園で、今年で113年。かつて大阪府立博物館内に併設(1884年)されていた動物園が、現在の天王寺公園に天王寺動物園として新設されたのは1915年で、今年で80年の歴史をもっています。

動物園の役割

一般的な動物園の役割は、

①自然環境を楽しむ場所。(各地が都会化することによって、自然環境が保たれる所が非常に少なくなりました)

②動物の勉強や学習をする場所。(小学校では生活科や理科、保育所や幼稚園では領域「環境」の実際の活動の場)

③レクリエーションの場所。(特に年少の子どもたち用に、いろんな遊具が多く設置されている)

また専門的な動物園の役割は、

④動物の研究や調査をする場所。(動物園の獣医や飼育係だけでなく、動物園外の動物研究者にも)

⑤動物の保護をする。(病気になったり、傷ついた動物を引き取ったり、滅びゆく動物の繁殖をはかる場所です)

この①～⑤の役割で、どれに重点を置くかによって、それぞれの動物園の特徴となるわけです。

社会教育の場としての動物園

先進の欧米の動物園では、動物園が独自に教育プログラムを作成したり、入園者の質問などに答える動物園教育の専門家や動物園ボランティア(動物園教育活動の協力奉仕者)等の組織が充実していて、市民のための勉強を強要しない楽しい市民大学として、動物園は子どもから大人に

まで活用されています。

日本の動物園も、各動物園がそれぞれ特色のある教育プログラムを組んだり、動物会館・動物資料館・ビジターセンター等の施設を設け、それを利用した教育の場としての活動をしています。

天王寺動物園では、毎月第3土曜日に、レクチャールームで飼育関係者による飼育に関する講話「どうぶつえんのおじさんのお話」を聞けますし、日曜日や祝日にはスポットガイドが行われています。夏休み中の小学生が動物たちと触れ合い動物のすばらしさを学ぶサマースクールが毎年開催されていますが、これらの行事に参加するのが、動物園の賢い利用法です。

保育所・幼稚園・学校の動物園の利用

幼児教育は、幼児が目で見、耳で聞く、鼻で嗅ぐ、舌で味わう、手足で触れるという、いわゆる五感を通しての自然との触れ合いが重視されています。動物園で、本物の生きた動く動物を見た感動は、まさに五感教育そのものです。特に最近では、動物園内に、子どもが動物を抱いたりして動物と触れ合える「子ども動物園」というコーナーが設けられるようになりました。ほとんどの保育所・幼稚園は園外保育に動物園を利用しています。

また、平成4年に新教科として登場した小学校の「生活科」は、生徒の自主活動を重視した教科ですので、動物園での授業が実施されています。小学校に入学すると生活科では、学校探検をします。昔は入学すると担任の先生が生徒をぞろぞろと引き連れて学校内を案内していましたが、生活科では生徒自身が自由に学校内の施設を探検し、自分が好きな施設について発表したりします。

動物園の学習も、園内を先生が生徒を連れて歩き回るのはなく、危険防止を十分に考慮して、自由に動物園内を探検させましょう。

動物園には、先生がたくさんいます

動物園の動物が、みな先生ですが、人間の先生としては職員がたくさんいます。園長、獣医、飼育技術員、研究員、学芸員などの専門職と、管理技術員、管理職員などの人がおります。時と場合によりますが、これらの人々から質問の回答や指導が得られます。

動物園の説明板を利用するのは当然ですが、動物園のパンフレット(入り口にある)、ガイドブック(天王寺動物園の本=ゆかいな動物たち 500円・大阪市天王寺動物園協会発行)や図鑑などの参考図書(どうぶつ くらしとかいかた 680円・ひかりのくにに株式会社発行など)を準備しておくとも動物園の利用に非常に役立ちます。子どもを引率する保育所・幼稚園・小学校の先生用に「楽しい天王寺動物園」というビデオが天王寺動物園協会が無料(但し郵送料510円は必要)で貸し出しをしています。

特に探検したい天王寺動物園の動物舎

ただ単に動物の檻を羅列した昔の動物園とは違い現在の動物園は、いろいろな目的を持った特徴のある動物舎が年々増加しています。天王寺動物園で、特に探検の計画に入れたい施設は、

①鳥の楽園・・・広さ3,170㎡、(畳なら2,000枚程)高さ約20mの大きいバードケージで、シュバシコウ、ガンなど約50種 600羽の鳥が収容されていて、入園者がケージの中を歩きながら、鳥の飛ぶ姿や巣作りや餌をついばむ様子が間近に見られます。通路からせりだした3カ所のバードウォッチングコーナーがあり、歩行者の邪魔にならず、じっくり鳥の観察ができます。



バードウォッチングコーナー

②コアラ館・・・この動物園のコアラは、ビクトリアコアラで、この建物はコアラが住んでいるオーストラリアの民家を模して建築されており、館内にはコアラに関する資料が展示されています。

③夜行性動物舎・・・夜間に活動するキウイ、フクロギツネ、オオコウモリなどがいます。舎内は暗いので、目がなれるまで、若干の時間が必要です。



オーストラリアの民家を模したコアラ館

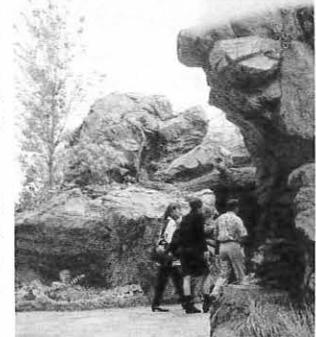
④系統分類学的展示・・・オオカミ舎には住んでいるオオカミの種類別に故郷の景観が背景に描かれています。オオカミはイヌの仲間です。すぐ近くにヒョウ、ピューマ、ジャガーなどがいるヒョウ舎があり、こども故郷のパノラマがありますし、トラ、ライオンなども放飼されていて、これらはネコの仲間ですので、動物分類学の食肉目の動物を比較して観察することができます。コアラ館の西側には、モンキーハウスとヒヒハウスが並んでいて、サルの子の観察ができます。さらに隣接して擬木をたくさん使った現地のパノラマを配したチンパンジーの放飼場があり、ここでは通路が上下に別れており、見る角度を変えてチンパンジーの生活を観察できます。

⑤爬虫類生態館(愛称=アイファー)・・・爬虫類(Reptile)の他に両生類(Amphibians)、魚類(Fishes)、無脊椎動物(Invertebrates)なども展



上下から観察できるチンパンジーの放飼場

示されていますので、この頭文字を進化の順に並べてアイファー(IFAR)という愛称がつけられました。樹木と岩石に囲まれた1階の入り口を入ると「北米の温帯湿地」があり、ミシシッピーワニ、ワニガメのほか、カメやヘビなどの爬虫類がいます。次の「乾燥地ゾーン」では、乾燥と高温に適応したトカゲ、ヘビ、リクガメなどの爬虫類が見られ、地階への通路の所の「水辺・水中ゾーン」には、水中には魚類が、水辺には水中から陸上に



進出した両生類が、また陸上にも水中にも住める爬虫類が見られます。地階の「熱帯雨林」では、高温多湿な赤道付近の豊かな生物相が観察でき、「日本の自然」には、亜熱帯の海岸、暖温帯の干潟、池沼、草地、河川、森林の環境が観察できます。

幼児教育者からの動物園を利用するための要望

私は保育所・幼稚園の教員養成に携わっていますので動物園での学習を実施しています。この学生たちから、動物園への要望をまとめてみました。

①団地やマンション住まいでは、動物を飼えないので、愛玩動物や家畜など、身近な動物を見せて欲しい。これらの動物たちは、品種が多いので、なるべく多くの品種を希望します。

②説明板への要望。(A)カタカナに、ひらがなの振り仮名をつけて欲しい。幼児が最初に学習するのは、ひらがなです。それ以外の動物の見所(特徴)を掲示して形態観察に役立てたい。

例: きりんの側対歩。ほっきよくぐまの足の裏。(C)文字ばかりでなく、説明に漫画を取り入れて欲しい。

③動物園の職員の服装を目立つようにして、利用者が、質問したり、道順を尋ねたりできるように。

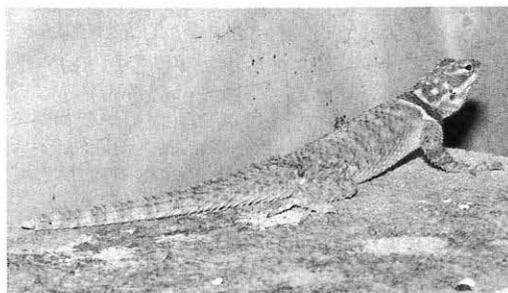
④調理場、動物病院の一部をガラス張りにして、外から見えるようにして欲しい。

(つじもと おさむ)

アオハリトカゲの繁殖

天王寺動物園の爬虫類生態館アイファーが一般公開を始めて早くも半年がたちました。今回紹介するアオハリトカゲも、アイファーの展示動物として平成7年3月23日に10頭が来園しました。そして意外にもこのアオハリトカゲが産卵し、赤ちゃんも順調に育っていますのでその概要について報告したいと思います。

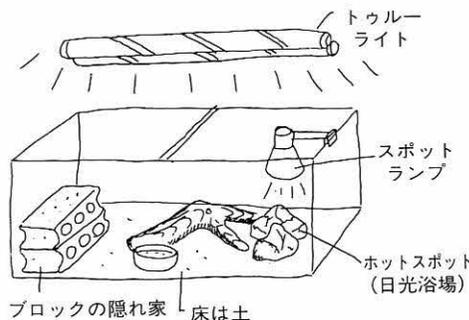
アオハリトカゲは北アメリカのテキサス南部からメキシコにかけての乾燥した砂れき地や岩場に棲むイグアナ科のトカゲで、全長が30cmほどになります。その名のとおり全身が針のような細かいウロコでおおわれているのが特徴で、雄は成熟してくると背面が美しい青緑色をしてきます。またこのトカゲは卵を産むのではなく、お腹の中で卵をふ化させ子供を出産する、卵胎生のトカゲであることも特徴の一つです。餌は昆虫を中心に口に入る大きさの小動物を食べ、時々草の葉や花も食べるようです。



アオハリトカゲの成体

当園にはいつてきた10頭は全長15~20cm位の若い個体で、雄特有の青緑色もはっきり出ていませんでした。この10頭を当初、館内にある予備収容室で飼育していました。飼育ケージは幅120cm、奥行60cm、高さ50cmの亚克力水槽を使用しています(図参照)。左端にはブロックを2段重ねて置き、これがトカゲたちの隠れ家になります。右側には石を置きその上から白熱球を照らしてあります。このアオハリトカゲは大変日光浴が好きで、太陽の照りつける岩場で日光浴をし、敵が近付いたりすると素速く岩陰に隠れる生活をしています。ですから飼育下でも日光浴を行う場所や逆に体が暖まったら、隠れ落ちつける場所を作ってやり、トカゲが好きな所へ行けるようにしてやればよいでしょう。水槽の上から照射しているライトはトゥルーライトと言いつ動物に有益な紫外線を含む

最も自然の太陽光に近い光を出す照明の一つとして動物園でも多く使用されています。このトゥルーライトと日光浴がわりの白熱球は毎朝決まった時間に点灯し、夕方消灯するようにタイマーによってコントロールされています。アオハリトカゲは特に飼育の難しいトカゲでもなく、このケージでフタホシコオロギやミルワームなどの昆虫を週3回与えながら飼育しています。



10頭のトカゲをすべて同じケージに収容していましたが特にケンカをする様子もなく、来園42日後の5月4日、ケージの中で小さな子供のトカゲを確認しました。この日は餌の昆虫を与えた後でしたが、このトカゲは素速く動く小動物に反射的に食いついてしまうという性質をもっているため、成体に食べられてしまう危険を避けて、生まれた12頭の幼体を別のケージへ移すことにしました。12頭のうち1頭は出産された直後は薄い膜におおわれ丸まっていましたが、1分とたたないうちに他の幼体と同じように素速く歩きまわるようになりました。幼体は全長が6.5cm、頭胴長3cm、尾長3.5cmで親のような針状のウロコはほとんど目立



薄い膜に包まれた幼体

ちませんが、体の模様はほぼ生体と同じで生まれた直後にもかかわらず生体と同じ様に動き回ります。自然の中では生まれた直後から敵に襲われる危険に直面し、なおかつ自分で餌を探さなければならぬので、生まれたばかりの子供でも親とかわらない行動力が必要なのでしょう。

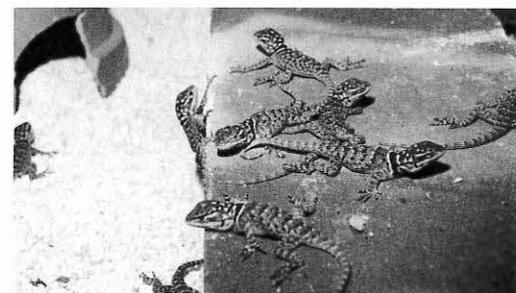
幼体用のケージは幅60cm、奥行45cm、高さ45cmの亚克力水槽を使用しました。成体のケージと同様ケースの上からトゥルーライトを照射し、ケージの中にはブロックの隠れ家と日光浴がわりのスポットランプを設置しています。ただこのスポットランプは成体に使用している白熱球ではなく、紫外線を多く含む天然光に近い光を出すクロマラックスと言う電球を使用しています。というのもこれらのトカゲの子供の体や骨格の発育には本来日光浴が欠かせないので、できるだけ自然の光に近い光を与える必要があるのです。外の気温が適切ならば屋外に出して日光浴させた方がよい結果が得られるのでしょうか。日中はこのスポットランプの下のレンガの上に集まっていますが人影がよぎると目にもとまらぬ速さで物陰へ隠れます。そして隠れた後しばらくしてチラッと顔を出して周りを見回す様子が何とも可愛らしく思えます。全長は日本産のトカゲやカナヘビの幼体と変わらないのですが、アオハリトカゲの幼体は体比べて頭が大きいので、あまり餌にも困らず、コオロギの1齢~4齢幼虫を餌に与えています。口比べて大き目の虫でも頑張つて食べてくれます。コオロギだけでは栄養の偏りがないかと思いつ、時々コオロギに爬虫類用のビタミン剤やカルシウム剤をまぶして与えることもあります。やはり幼体たちもミルワームよりよく動くコオロギの幼虫によく反応します。



コオロギの幼体をパクリ

5月11日、成体のケージで2度目の出産がありました。この日はまだ成体に餌を与えてなかったので人影に驚き動いた幼体が2頭、反射的に成体に食べられてしまいました。11時30分にもう1頭、同40分にもう1頭の幼体を確認し、最終的に計6頭の幼体が生まれました。さらに5月14日には3度目の出産があり、この日は8頭の幼体を取り上げました。これら生まれた日の異なる幼体たちをすべて同じケージに収容していますが、ケンカをする様子もありません。飼育を続けていくにつれ、早く生まれた幼体と後に生まれた幼体との

大ききの差も出てきましたが、後で生まれた小さな個体も大きな個体に負けないくらいの勢いで餌のコオロギにとびつきます。一番最初の幼体が生まれた日から22日目の5月26日に再び幼体のサイズを測りました。最初に生まれた幼体は全長が8.5cm、頭胴長3.2cm、尾長5.3cmに成長し、体表のウロコもトゲ状に目立ち始めました。



元気なたくさんの幼体たち

親子共に大変丈夫なトカゲで、特に病気等も見られませんが問題も起きました。成体が子供を出産し始めてまもなく、成体トカゲにダニが寄生したのです。体力のない幼体に移っては大変と思いつながらも、体の小さなトカゲにいきなり強い駆虫薬等を使うのは危険が大きいため、トカゲの体を洗い薄めの薬を体に塗布しました。また今まで使用していたケージを消毒し別のケージへ移したりしましたがなかなか効果が表れず、ついに別のケージにいる幼体トカゲたちにもダニの寄生が感染してしまいました。幼体は体にダニを付けながらも相変わらずよく餌を食べますが、指先ほどの小さな体に多数のダニを寄生させていたのでは相当な負担にちがいありません。これから処置を考えなければならぬ問題の一つです。

アオハリトカゲのような卵胎生のトカゲは卵をふ化させる手間が省ける分、繁殖させやすいトカゲといえるかもしれません。ただ生まれた時に一緒にいる成体に食べられてしまう危険性が高いだけに注意が必要でしょう。また今回は10頭同居させている成体トカゲたちから生まれたため、どの個体が出産したのか、同じ親が数回産んだのか、別の親がそれぞれ産んだのか、など確認できなかったこともあります。

今後は雌雄の判別を明確にしてペアを作り、季節や環境の変化がどのように出産に影響するのか調べてみると面白いと思います。

7月11日よりアイファーの展示室で5頭のアオハリトカゲの成体展示を始めました。ライトの下に集まっても内気なトカゲたちは人が通るとサッと隠れてしまいますが、最近少しづつ慣れてきたのか展示室でもその姿を見られるようになりました。いずれこの展示室の中で子供が生まれ、親子が重なつて日光浴をしている姿を何とか来館者の皆さんに見てもらえればと願っています。

(飼育課: 西村慶太)

グラフZOO

アジアゾウ めからだ

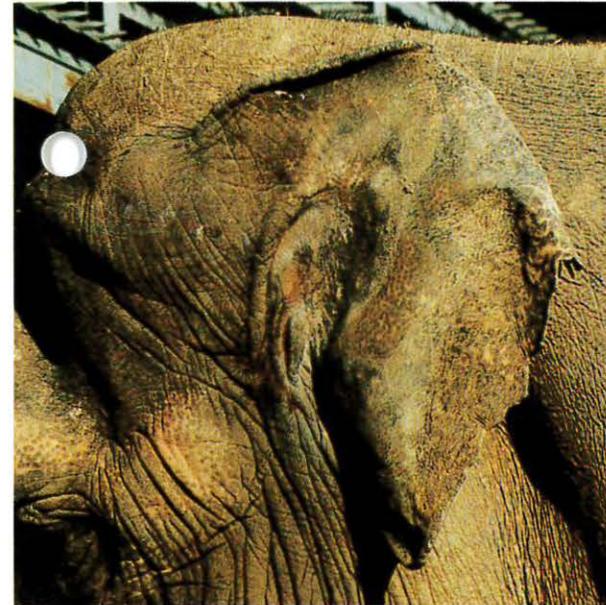


キバ。実は人の前歯(門歯)にあたる歯がキバのようにのびたものなのです。

ゾウはどここの動物園でも人気者。当園にはアジアゾウがいますが、皆さんはゾウのことをどのくらい知ってるかな？
(飼育課：西田俊広)



遠くで見るとやさしくみえるゾウさんの目、近くで見るとなにかの映画でみる恐竜の目に似てませんか？



大きな耳たぶ。アフリカゾウの耳たぶはもっと大きいのです。

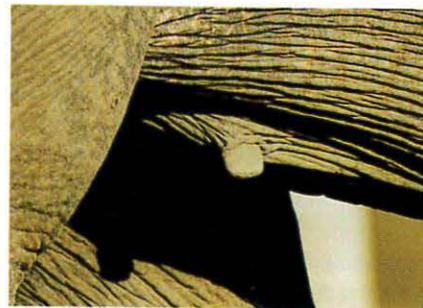
ゾウのシッポは
どんなだっ
たっけ？



こんなシッポだっ
たんですね。



鼻の先の穴はやはり2つありますね。鼻でピーナッツをつまむこともできます。



皆さんつかしいですか？
実はゾウのオッパイは前足の間にあります。



ゾウにもツメがあることを知らなかった！ それにしても立派なツメですね。



足の裏を地面につけて音もなく近づくことができます。

獣医室から

65

動物園での検疫

天王寺動物園には多くの動物が飼育されていますが、生き物ですので、ずっと同じ動物が飼育されているわけではありません。皆さんが思われている以上に出入りが多いかも知れません。毎年多くの動物たちが天王寺動物園に新しく仲間入りしてきます。

そこで問題になってくるのが、新着の動物が動物園に病気を持込むことです。これを防ぐためには検疫が大切になってきます。検疫といえば海外旅行に行かれた方はご経験があることと思いますが、入国の際に検疫所の健康状態をチェックするための質問票に記入しなければならなかったことを思い出されるでしょう。これは外国から伝染病を持込まないために行われているもので、体調の悪い人は申し出て、精密検査を受けることになっています。コレラなどの伝染病が、よく話題にのぼります。

検疫は人ばかりではなく動物や植物でも行われています。これらもヒトの検疫と同じように、外国から動物や植物の病気を持込まないように行われているものです。動物の検疫は動物検疫所が行っており、家畜が対象になっています。輸入相手国の伝染病の発生状況によって異なりますが、偶蹄類で15日、ウマ科動物で10日、ニワトリで10日、イヌで14日の繋留期間が定められており、その間、動物が伝染病にかかっていないか、検査や観察がされています。近畿地区では関西国際空港の空港島内に犬の繋留のための犬舎が、その他の動物の繋留所は大阪港と神戸港にあります。

動物園で行う検疫は動物検疫所の行っている検疫とは主旨は似ていますが少し異なっています。外国から来た検疫対象の動物は検疫所で繋留され検疫を受けますが、動物園の動物のほとんどは法律上検疫を必要としません。動物園の野生動物で



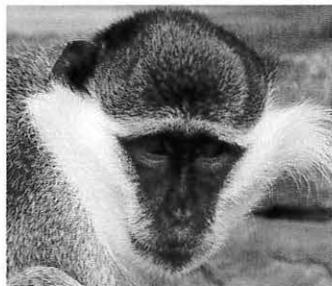
検疫の対象となるのはキリンやカモシカ類などの偶蹄類だけです。また、国内の移動には、なんら制約を受けません。そこで動物園では、飼育している動物に病気を持込まないことを目的として独自の検疫プログラムをたて、すべての入園動物に対して検疫を行っています。そのため新しく動物園の仲間に入ってきた動物は一定期間動物病院などに収容し、いろいろな検査を行ったり、動静を観察して病気でないことを確かめてから展示することになっています。寄生虫の検査のための検便を中心に、細菌検査、必要があれば、レントゲン検査や血液検査も行います。そして、伝染病を防ぐため予防接種をする場合もあります。

中でも最も検疫を重視しているのが、サル仲間です。サル類は家畜ではありませんので、動物検疫所の検疫対象になっていません。しかし、人に最も近い動物であるためヒトと共通の病も多く、また、寄生虫などではサルに感染した場合はそれほど症状を示さなくても人に感染した場合はひどい下痢を起こすものも少なくありません。ダイレクトに人に感染する病気が多いので大変気を使います。

80年代になって、流行し始めたヒト免疫不全ウイルスによるエイズは、免疫機能を低下させ、様々な病気にかかり死に至る恐ろしい病気ですが、そのウイルスの発生地はアフリカの熱帯地域といわれています。エイズにウイルスに似たウイルスはサバンナモンキーなどのアフリカのサルからも検出されており、サルの病気があったものが人に感染し、変異したものがエイズのウイルスではないかとされています。サルのウイルスとヒトのウイルスとの遺伝的な変異から推測するとサルからヒトへの感染はすでに数百年まえに起ったのではないかとされています。いずれにしろ、現在治療法が全くない病気がサルからヒトに感染したとすると恐ろしいことです。

恐ろしい病気を動物園に持込まないように新着の動物の検疫は動物病院の最も大切な仕事のひとつです。それぞれの動物に合わせ検疫期間定め検査項目を確立し、可能な限り予防接種を実施し、動物の健康管理のためのみならず、職員への感染防止、入園者の安全のためにも確実な検疫体制をとりたいと考えています。

(飼育課：榊原安昭)



- 8/1. 爬虫類生態館のアルダブラゾウガメ4頭とヒョウモンガメ5頭の身体測定を行いました。
- ドバト、ヒヨドリ、スズメを各1羽とフェレットを1頭保護しました。
- 8/2. キジバトを1羽保護しました。
- 8/4. ヒヨドリを1羽保護しました。
- 8/6. アオバズク、ヒヨドリ、ドバトを各1羽保護しました。
- 8/6. フタコブラクダが目やにを出したので治療を始めました。

8月7日 コアラの体重測定を行いました。これは各個体別に毎週行っているものです。



8/9. 今年ふ化したキジ類のヒナにワクチンを接種しました。

8/10. “鳥の楽園”で展示していたヨーロッパホンケワタガモのメス1羽の元気がなくなったので治療を始めました。

8月11日 カモシカ園のブラックバックのオスの角に付けていたゴムホースが取れたので、麻酔をして付け直しました。これは発情で興奮したオスが角で他の動物に怪我させるのを防ぐために行っているものです。



8/11. ホンドタヌキの子供を1頭保護しました。7月29日に生まれ人工哺育していたドリルのオス“ドリー”が下痢をしたので治療を始めました。

8/12. ゴイサギを1羽保護しました。

8/16. アミメキリンのオス“ナガヤ”が足を怪我したので治療を始めました。

8月17日 オオサイチョウのオス、メスの同居展示を始めました。このオスは行川アイランドからフリーディングローンで借り受けたものです。網越しの見合いで相性が良いと判断し同居に踏切りました。



8/18. ヒヨドリとスズメを各1羽保護しました。

8/19. 今年保護したヒヨドリやキジバトなどの

今月もおもしろ情報満載

ZOO DIARY



鳥類4種14羽とホンドタヌキ1頭が元気になったので自然復帰させました。

- 8/20. ドバトを1羽保護しました。
- 8/21. マクジャクが2羽ふ化しました。
- 8/23. モモイロペリカンの体重測定を行いました。
- 8/24. キジバトのヒナを1羽保護しました。

8月26日 ソデグロツルのオス、メスの終日同居を始めました。これまでは昼間に監視しながら同居させていましたが、相性がいいので同居に踏切りました。



8/27. ドバトを1羽保護しました。

8月28日 アミメキリンのオス“マイケル”の

搬出用檻をキリン舎に設置しました。檻に慣らすため、10月9日に京都市動物園に送りました。



8/29. ヤギのオスが1頭生まれました。7月にふ化を確認したアカコンゴウインコのヒナの目が開きました。

お知らせ

- 動物園のおじさんのお話「キリンの話」日時：10月15日(日)午後1時から 場所：レクチャールーム
- 動物園の売店で販売しています。「わたしたち地球家族」ーてんのうじどうぶつえん百話ー ¥1,300. 「TENNOJI ZOO」(80周年記念写真集)ー天王寺動物園80年の歩みー ¥2,000.

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間は？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価680円

むしくらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

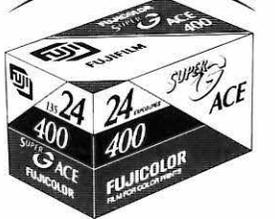
お求めは、お近くの書店で。

☆ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

新・きれいな色

FUJICOLOR SUPER G ACE 400

新・きれいな色



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

<研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載>

会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作

貸出用「楽しい天王寺動物園」
ビデオ 19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

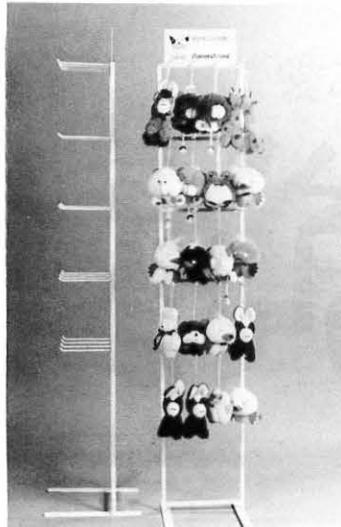
マスターのポップコーン



<営業品目> 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06)865-0165



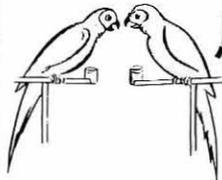


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

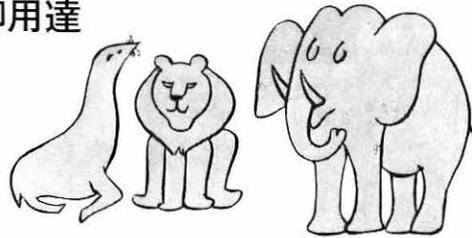
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

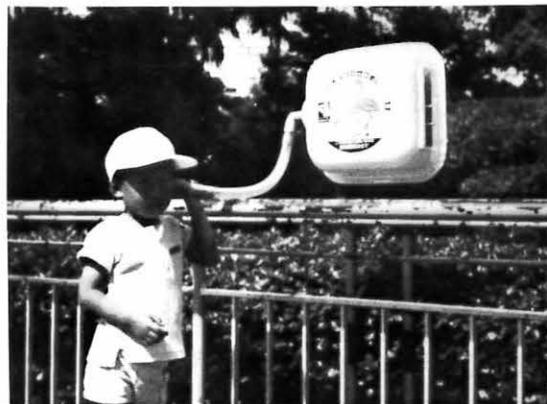
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



LOTTE



サクッとスリムなプレッツェルを、
こんがり焼き上げたあとに
チョコをたっぷり入れました。
「トッポ」のおいしさの人気は、
ここがポイントです。



雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



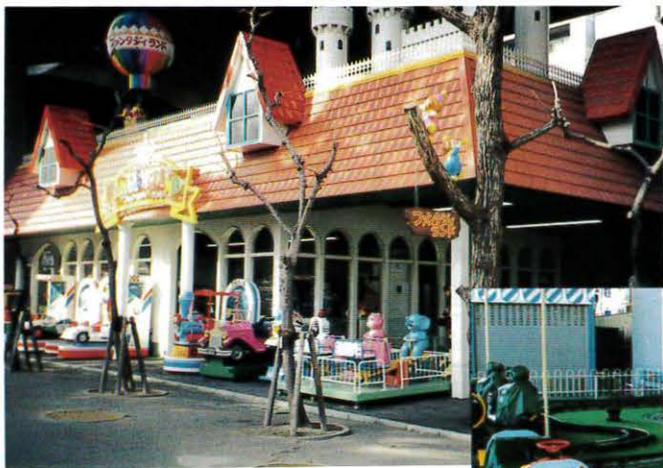
●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

一日
愉快地
たのしめる



久竹娛樂株式会社
TEL (06)541-3938(代)

なきごえ 1995年10月10日発行 (毎月10日発行) 第31巻 第10号 (通巻362号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所
 発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74
 電話 大阪 (06) 771-0201
 振替口座 00930-2-37823

編集委員

樽本 勲 / 馬詰好文 / 増野悦敏 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 長谷川敏昭 / 落合正彦 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榎原安昭 / 森本委利
 高橋雅之 / 中上正幸 / 堀内智生 / 小林崇宏 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 土谷正道 / 村上勇一 / 仁田原洋